

記者資料提供（2026年5月7日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）大原、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



# KIITO:

BE KOBE が生まれて 11 年。これまでを振り返り、  
これからについて考える+クリエイティブゼミ vol.43 を開講！

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりゼミを開講いたしますのでご案内いたします。

## +CREATIVE RESEARCH SEMINAR vol.43

リサーチャー養成編

### 「BE KOBE のこれまでとこれからをみんなで考える。」



デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、社会課題に対して「+クリエイティブ」な視点からアプローチし、解決を目指す手法をゼミ形式で学ぶ「+クリエイティブゼミ」を継続的に開催しています。

第43回のテーマは「BE KOBEのこれまでとこれから」。今やまちのあらゆる場所で目にする「BE KOBE」のロゴマークやモニュメントは、神戸を代表するシンボルになっています。一方で、「BE KOBE」は神戸のまちへの「愛着」や「誇り」を表すシビックプライドであり、その背景には、震災復興に力を尽くしてきた人々こそが神戸の魅力であるという想いがあります。こうした想いは、市民にどのように共有され、受け継がれているのでしょうか。「BE KOBE」というメッセージが生まれてから11年を迎えた今、これまでの歩みを振り返るとともに、そのあり方について未来に向けて考えたいと思います。講師には、大阪大学COデザインセンターの山崎吾郎さん、デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長の永田宏和を迎えます。フィールドワークを重視する文化人類学の観点から「リサーチ」に焦点を当て、他都市におけるシビックプライドの事例にも触れながらその手法を学び、アイデア創出から実践までを目指します。また、2015年3月まで神戸市広報専門官・広報官を務め、「震災20年神戸からのメッセージ発信事業」に携わった松下麻理さんを特別講師として迎え、「BE KOBE」を立ち上げた当初の経緯や込められた想いについてお話を伺います。

【開催概要】+クリエイティブゼミ vol.43 リサーチャー養成編「BE KOBEのこれまでとこれからをみんなで考える。」

日時：①2026年6月9日（火）②6月16日（火）③6月23日（火）④6月30日（火）⑤7月7日（火）⑥7月14日（火）19:15-21:15、⑦7月26日（日）14:00-17:00 全7回 ※別途メリケンパークでのフィールドワークも予定、⑦は大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムとの合同最終発表会。

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）1F +クリエイティブスタジオ

講師：山崎吾郎（文化人類学者/大阪大学COデザインセンター）、永田宏和（企画・プロデューサー/KIITOセンター長）

特別講師：松下麻理（Artist in Residence KOBE (AiRK)）

対象：学生、社会人、シニア、行政職員、大学職員など、本テーマに関心のある方はどなたでも

定員：30名程度（事前申込制・先着順）※原則全日程参加

参加費：無料 申込：2026年5月7日（木）15:00からWebサイト（<https://kiito.jp/>）にて申込受付開始

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸 連携：大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

開館時間 | 9:00~21:00 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）

WEB | <https://kiito.jp/>

## 講師・プロフィール



山崎吾郎（文化人類学者/大阪大学COデザインセンター）

1978年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学、博士（人間科学）。

専門は文化人類学。主な仕事に『臓器移植の人類学：身体の贈与と情動の経済』（単著、世界思想社、2015年）、『やっかいな問題はみんなで解く』（共編著、世界思想社、2022年）、『構造と自然：哲学と人類学の交錯』（共編著、勁草書房、2022年）などがある。



永田宏和（企画・プロデューサー/KIITOセンター長）

1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001年「iop 都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO 法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021年4月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪 2009・水辺の文化座」「イザ！カエルキャラバン！」（2005～）「地震 EXPO」（2006）「ちびっこうべ」（2012～）「EARTH MANUAL PROJECT 展」（2013～）などがある。

## 特別講師・プロフィール



松下麻理（Artist in Residence KOBE（AiRK））

神戸市内の3つのホテル勤務を経て、2010年より神戸市広報専門官・広報官として市政の広報を担う。震災20年事業では、シビックプライドの象徴として「BE KOBE」の作成を推進。2015年からは神戸観光局にて神戸フィルムオフィス（映像作品の誘致と支援）を担当。2022年に仲間とともにアーティスト・イン・レジデンスを北野で立ち上げ、国内外のアーティストの神戸での芸術活動を支援し、神戸の街とアーティストをつなぐ活動を行っている。

## 過去に実施した+クリエイティブゼミの様子



ゼミの様子



グループワークの様子



最終発表の様子